

MARCH 2022

名古屋能楽堂

三月特別公演

能・狂言でめぐる街道の名所

—伊勢の御裳濯川・京都の鞍馬山・鎌倉の寺院—
一度は行きたい 街道の先へ

江戸時代の庶民にとって「夢」ではなく、実現できる憧れだったお伊勢参り。
伊勢街道を南下し、内宮に到着して高まった気持ちだが、宇治橋の先、
御裳濯川（五十鈴川）に手を浸せば、すっと清められるから不思議です。
日本各地と東国を結んだ鎌倉街道。京都の中心地から
若狭へ抜ける最短ルート、鞍馬街道。
三月の公演は、人が往来する街道で生まれたドラマを、
三本立てでお届けします。

能「鞍馬天狗」
(宝生流)
(撮影:吉越研)

令和4年
3月6日(日)

13:30開演(12:30開場)

全指定席

正面席A 5,200円

正面席B、中・脇正面席...4,200円

学生券(正面席A以外)...2,000円

能

狂言

能

「御裳濯」(金春流)
シテ 本田布由樹
「鐘の音」(和泉流)
シテ 野村又三郎
「鞍馬天狗」(宝生流)
シテ 内藤 飛能

能「御裳濯」
(金春流)
(撮影:辻井清一郎)

12月24日(金)より
前売券発売

※学生は25歳以下を対象とします。
※チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。
※本公演の座席は定員の半分以下の数で、市松模様状に配置しております。
※感染予防のため、ご来館の際はマスクをご着用ください。
マスクを着用でない方の来館はお断りします。
※入場時の検温にご協力をお願いいたします。
37.5度以上の場合は入場をお断りします。



能

御裳濯(金春流)

前シテ 老翁 興玉神

本 田 布 由 樹

後シテ 男 鬼頭 尚久

飯 富 雅 介

ワキ 大臣 飯 富 雅 介

橋 本 雅 介

ワキツレ 從者 高 安 受 壽

鹿 島 俊 裕

アイ 所 者 高 安 受 壽

竹 市 昭 弘

笛 小 鼓 河 村 眞 之 介

船 戸 昭 弘

太 鼓 加 藤 洋 輝

金 春 穂 高

後 見 安 達 裕 香

中 村 昌 弘

シテ 太郎冠者 野 村 又 三 郎

伴 野 俊 彦

アド 主 松 田 高 義

後 見 松 田 高 義

狂言 鐘の音(和泉流)

後 見 松 田 高 義

シテ 太郎冠者 野 村 又 三 郎

伴 野 俊 彦

アド 主 松 田 高 義

後 見 松 田 高 義

仕舞 敦盛(観世流)

伊 藤 裕 貴

仕舞 西行桜(喜多流)

長 田 駿

地謡 伊 藤 英 毅

伊 藤 英 毅

地謡 伊 藤 英 毅

伊 藤 英 毅

地謡 伊 藤 英 毅

伊 藤 英 毅

地謡 伊 藤 英 毅

伊 藤 英 毅

地謡 伊 藤 英 毅

伊 藤 英 毅

地謡 伊 藤 英 毅

伊 藤 英 毅

地謡 伊 藤 英 毅

伊 藤 英 毅

地謡 伊 藤 英 毅

伊 藤 英 毅

地謡 伊 藤 英 毅

伊 藤 英 毅

地謡 伊 藤 英 毅

伊 藤 英 毅

仕舞

班女 舞アト(金剛流)

前シテ 山伏 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

後シテ 山伏 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

ワキ 牛若丸 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

ワキツレ 花見 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

アイ 花見 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

能 鞍馬天狗(宝生流)

伊 藤 雅 子

前シテ 山伏 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

後シテ 山伏 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

子方 牛若丸 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

ワキ 花見 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

ワキツレ 花見 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

アイ 花見 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

能 鞍馬天狗(宝生流)

伊 藤 雅 子

前シテ 山伏 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

後シテ 山伏 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

子方 牛若丸 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

ワキ 花見 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

ワキツレ 花見 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

アイ 花見 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

能 鞍馬天狗(宝生流)

伊 藤 雅 子

前シテ 山伏 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

後シテ 山伏 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

子方 牛若丸 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

ワキ 花見 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

ワキツレ 花見 伊 藤 雅 子

伊 藤 雅 子

◆能解説「御裳濯」(みもすそ)

天皇の臣下(ワキ)が伊勢神宮参詣の帰りに二見浦近くの石の鏡に立ち寄り、老人(前シテ)と若い男(ワキ)が現れる。水を張った田にさらけ出し川水を注ぎ入れそれを信仰する謂れを尋ねると、老人らはかつて倭姫が神鏡を携えその地を訪れた際に川水で鏡を濯いだこと、興玉神が農天の姿で山頂へ倭姫を導いたこと、その山から流れる神聖な川水の恵みにより稲を育てていることなどを語り、また自ら興玉神であるとのめかし姿を消す。やがて興玉神(後シテ)が本来の姿で現れ、神舞を魂爽と舞い世を寿ぐのであった。

現在では金春流のみ上演している稀曲です。伊勢神宮を訪れたことのある方は、内宮の境内を流れる五十鈴川(御裳濯川)の姿に清涼とした印象を受けたのではないのでしょうか。その上流にある「石の鏡」はかつて景勝地として有名でしたが、今は訪れる人も少なく「人の顔が映る」とまで言われた石面も苔むしているそうです。海の幸、山の幸、またお茶やお米の産地としても知られる伊勢の自然の豊かさは、まさに神徳と言えるのかも知れません。

興玉神は伊勢神宮の祭神ですが、天孫を案内したという猿田彦命と同視されています。猿田彦神社は伊勢市駅が内宮へ向かうバスで立ち寄ることが出来ます。(本田由樹)

◆狂言解説「鐘の音」(かねのね)

主人は召使い(太郎冠者)を呼び出し、俵のために今から鎌倉へ行って「かねのね」を聞いて来い、と云い付けて遣いに出します。召使いはさぞく円覚寺や極楽寺など鎌倉の寺々を巡り歩き、鐘の音を入念に聞き比べて戻り主人に報告しますが、主人は褒めるどころか怒りだす始末。その理由をあらためて尋ねてみると……

「かねのね」の真意を聞き取った言葉遣いの演目ですが、主人の命を懸命に果たそうと鐘を撞いては聞きまわりの奮闘・独演は、その風景・情景をも浮かびそうな一人芸であり本曲の眼目です。また流儀・流派によつて訪ねる寺やその順序・音の良し悪しに異なつた演出が残ります。(井上松次郎)

◆能解説「鞍馬天狗」(くらまてんぐ)

所は春爛漫の京都の鞍馬山。東谷に住む僧(ワキ)が大勢の稚児連を連れて、西谷の桜見物にでかけます。下働き(前シテ)が稚児連のために舞を舞っている。見慣れない山伏(前シテ)がどつかり真ん中に座りこんで邪魔をする。興ざめた一行はその場を離れますが、一人だけ居残る稚児がいます。これこそ源義朝の子供で常盤御前の三男の沙那王(主シテ)でした。他の稚児連は皆、今をときめく一門の子であつたので沙那王は誰からも顧みられない、哀れな境遇を嘆きます。同情した山伏は花の名所を案内して回り、我々はこの山に長年棲む大天狗であると明かし、志あるならば奥義を授けよう、と云つて姿を消します。

翌日、長刀を手にして稚児に勧め沙那王の前に、大勢の天狗を引き連れて大天狗(後シテ)が現れます。大天狗は、唐土の国派良の物語を語り聞かせ、兵法の奥義や秘伝を残さず授けます。そして、沙那王が平家を滅ぼし戦功を上げられるように、影身となつて御護りする事を誓い、名残を惜しみつつ、鞍馬山の頂に駆け上がり姿を消すのでした。

花見の稚児連が賑わう場面から、一転、若丸と山伏と二人だけの情景に変わった場面へと変わる。後、大天狗が若丸に伝授の奥義を授ける壮重なるシーンへと展開していきます。現在も自然豊かな鞍馬山は、牛若丸の足跡を点検しており、桜の開花頃は多くの参拝者で賑わいます。

花見稚児役で初舞台を踏む演者も多くいます。今回は名古屋で駒馴みの稚子方の子供達が出演する点も注目でありです。(内藤飛能)

【イヤホン・ガイド】

◆能「御裳濯」

◆能「鞍馬天狗」

◆能「班女」

◆能「狂言」

◆能「狂言」

◆能「狂言」

◆能「狂言」

◆能「狂言」

三月特別公演事前学習講座

2月12日(土) 14:00~16:00

受講チケット500円

◆能「御裳濯」「鞍馬天狗」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

※事前学習講座のチケットは、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金(税込) *前売券発売日 令和3年12月24日(金)

全指定席	正面席A	正面席B・中正面席・脇正面席	
		一般 Adult	学生 Student under 25 years old
前売 Advance sale	5,200円	4,200円	2,000円

*学生券は25歳以下を対象とします。*未就学児のご入場はお断りいたします。

*チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は400円引きです。(学生券の割引はありません。)

(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ。各割引の併用はできません。)

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂/TEL.052-231-0088

*前売券発売日当日は、お電話が繋がりにくいことがあります。

名古屋市文化振興事業団チケットガイド/TEL.052-249-9387

(平日9:00~17:00/チケット郵送可)

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。

(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)

チケットぴあ/TEL.0570-02-9999(Pコード510-054)

*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引します。(名古屋能楽堂取扱いのみ)

Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ/名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



【感染予防への取り組みとお願い】

- ◎感染予防のため、ご来館の際はマスクを着用ください。マスクを着用でない方の来館はお断りします。
- ◎入場時の検温にご協力をお願いします。37.5度以上の場合は入場をお断りします。
- ◎チケットの半券にお名前と連絡先電話番号をご記入ください。ご記入いただきました個人情報、新型コロナウイルス感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されます。一定期間経過後に適切に破棄させていただきます。
- ◎本公演の座席は定員の半分以下の数で、お客様同士の距離を保つていただくため市松模様状に配置しております。
- ◎本公演は名古屋市の「文化施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき実施いたします。ガイドラインに基づいた対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

公演についての最新の情報は
名古屋能楽堂ホームページを
ご覧ください。



https://www.bunka758.or.jp/scd24_top.html